

平成28年度

事業計画書

公益財団法人 防府市文化振興財団

I 平成28年度 基本方針

本財団は、平成23年4月に山口県知事から公益財団法人の認定を受けるとともに、防府市からは公会堂など4施設の指定管理者として2期目の指定を受け、平成27年度においても各種事業を企画運営し、市民文化の振興に努めてまいりました。

文化事業では、第15回目を迎えた「防府音楽祭」は、ファイナルコンサートを公会堂で開催し、オーケストラの演奏と市民の大合唱によるベートーヴェンの第九で新年のスタートを盛り上げるなど、地域の音楽力の向上に努め、「世界の飛び出す仕掛け絵本展」を始めとする美術事業についても、多くの来場者を集め好評を得ました。

科学事業では、春に「錯覚美術館」、夏に「光のイリュージョン展」、秋に「オートマタの世界展」など、子どもから大人まで幅広い人々が、分かりやすい展示や解説により、科学への興味・関心を高めることができる企画展等に多数の来館者があり、ソラール開館以来の入館者数が2月には90万人に達する見込みです。

平成28年度は、防府市制施行80周年の年であり、本財団が指定管理者として第3期目のスタートを切る年でもあります。平成27年に「防府市文化振興財団の基本方針に関する懇談会」からいただいた今後5年間の文化振興の方向性に関する提言を尊重し、業務内容、業務体制等をさらに充実させてまいります。

文化事業については、公会堂、地域交流センター（アスピラート）を拠点に、幅広い分野で優れた芸術・文化に触れる機会の提供に努め、市民の皆様の芸術文化活動に資するために、「鑑賞」、「育成」、「普及」、「発表・支援」の各種事業に取り組んでまいります。音楽事業では、クラシック音楽、ポップスから伝統芸能まで様々な音楽に触れる場を提供し、音楽への興味・関心を広げていきます。美術事業では、例年の地元文化に密着した事業に加え、親子で楽しめる展覧会などを開催し、多方面から地域の文化振興を目指します。

科学事業については、県内唯一のサイエンスショーを楽しめる科学館（ソラール）において、「科学を、やさしく・ふかく・たのしく」伝えることを目標に、いつも何か新しいものに出会える「スパーク」する科学館であり続けられるよう、スタッフ一同、力を尽くしてまいります。

また、これまでの事業に加えて本年度からは、新たに防府市立防府図書館の指定管理者にも指定されましたので、図書館法の趣旨に沿って管理運営を適正に行い、教育及び文化の情報拠点として郷土資料等の充実に努めるとともに、ボランティア・サークル等と協働して市民の読書活動と生涯学習を支援してまいります。

本財団は、広く芸術文化、科学、教育に関する事業を通じて市民の皆様の心豊かな生活を育むべく、全職員が一丸となって、これらの事業に積極的に取り組んでいくことを平成28年度の基本方針とします。

Ⅱ 平成28年度 事業概要

基本方針に基づき、定款の目的に沿った事業を展開することで、公益法人の使命達成に向けた取り組みを進め、防府市の文化振興を図ります。

また、収益事業についても、利用者のサービス向上につながる運営に努め、公益目的事業の財源として活用します。

1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

防府市からの指定を受け、「市民一人ひとりが文化を享受し、文化を育み、文化を創り出すことができる環境づくりを行う」という本財団の設立目的に沿い、平成28年度においても、鑑賞、育成、普及、発表及び支援事業それぞれにおいて、市民の皆様に親しまれる幅広い事業展開を行ってまいります。

(1) 鑑賞事業

① 音楽事業

クラシック音楽からポップスまで様々な音楽を市民の皆様に提供するとともに、質の良い演奏会を展開し、音楽への興味・関心を広げていきます。

また、防府市が市制施行80周年を迎えることから、記念事業も展開します。

ア クラシック

[主催事業]

a 第16回防府音楽祭<ほうふニューイヤーコンサート2017>

…平成29年1月6日(金)～9日(月・祝)(予定)

会場：アスピラート他

b (仮称) ニッセイ名作シリーズ公演

…平成29年1月27日(金)(予定) 会場：防府市公会堂

その他1～2本を予定

[共催事業]

a (仮称) 辻井伸行&ヨーロッパ室内管弦楽団日本ツアー2016

…平成28年11月2日(水) 会場：防府市公会堂

その他1～2本を予定

イ ポップス及びその他

[主催事業]

a 会員招待事業

堀江貴文 講演会 演題「ゼロからの挑戦！」

- …平成 28 年 4 月 17 日（日） 会場：防府市公会堂
- b 著名アーティストによる大型ポップスコンサート 1～2 本
 …（内容・開催時期未定） 会場：防府市公会堂
- c 著名アーティストによるポップスコンサート 1～2 本
 …（内容・開催時期未定） 会場：アスピラート
- d 著名アーティストによる大型公演
 （地元テレビ局、プロモーター等との共同企画） 1～2 本
 …（内容・開催時期未定） 会場：防府市公会堂又はアスピラート
- その他 1～2 本を予定

[共催事業]

- a 市民に贈る吹奏楽の夕べ 2016 プリヂェストン吹奏楽団久留米コンサート
 … 開催については調整中（開催時期未定） 会場：防府市公会堂
- b （仮称）グレン・ミラーオーケストラ・コンサート
 …平成 28 年 11 月頃 会場：防府市公会堂
- c その他ポップス等コンサート 2～3 本
 …（内容・開催時期未定） 会場：防府市公会堂
- d その他ポップス等コンサート 3～4 本
 …（内容・開催時期未定） 会場：アスピラート
- e その他音楽以外のジャンル公演 2～3 本
 …（内容・開催時期未定） 会場：防府市公会堂又はアスピラート
- その他を含め合計で 10 本程度を予定

ウ 伝統文化

[主催事業]

（仮称）T A O 防府公演

…平成 28 年 9 月 4 日（日） 会場：防府市公会堂

その他 1～2 本を予定

② 美術事業

地元文化に密着した事業に加え、全国の美術館を巡回する美術展や、親子で楽しめる展覧会などを開催し、多方面から地域の文化振興を目指します。

[主催事業]

- a 防府市制施行 80 周年記念「鉄道写真家 中井精也 ゆる鉄ワールド」展
 …平成 28 年 4 月 9 日（土）～5 月 22 日（日） 会場：アスピラート
- b （仮称）アスピラートで夏休み！「チームラボ・アイランド」展
 …平成 28 年 7 月～8 月（予定） 会場：アスピラート
- c 「アスピラートでクリスマス 2016 冬灯り展」

…平成 28 年 12 月頃 会場：アスピラート

d (仮称)「アルフォンス・ミュシャ展」

…平成 29 年 2 月下旬～4 月上旬 (予定) 会場：アスピラート

e 美術鑑賞バス (2 回) … i) 平成 28 年 6 月 (予定) 行先未定

ii) 平成 28 年 11 月 (予定) 行先未定

その他 1 本程度を予定

[共催事業]

a (仮称) ふるさとの匠たち～第 9 回「腕前探訪」技あり！やまぐち

…平成 28 年 9 月頃 (予定) 会場：アスピラート

その他 1 本程度を予定

(2) 育成事業

本財団の特色ある事業として、育成事業を継続発展させてまいります。

① 音楽事業

防府音楽祭への出演を含め、参加者の充実度をより高めるとともに、音楽を聴くだけでなく、参加することの喜びを体験できるようなカリキュラムで展開します。

a こども合唱教室 …月 4 回 (毎週土曜日) 会場：アスピラート他

b 弦楽合奏教室 …月 2 回 (日曜日) 会場：アスピラート他

c 吹奏楽教室 …月 4 回 (毎週月曜日) 会場：アスピラート他

d 合唱教室 …月 3 回 (毎週木曜日) 会場：アスピラート他

e チェンバロ講座 (全 4 回)

…平成 28 年 9 月～10 月 (予定) 会場：アスピラート

② 美術事業

市民から要望の多い子どもワークショップを企画展と併せて展開し、より多くの子どもたちを対象として、美術育成事業の充実を図ります。

「ゆめあーとひろば」 6 回程度実施

…平成 28 年 7 月～平成 29 年 2 月 (予定) 会場：アスピラート

その他 1 本程度を予定

(3) 普及事業

各種音楽セミナーを開催し、音楽に対する興味を持ってもらうように普及事業を展開します。

① 音楽セミナー

[主催事業]

a (仮称) 音楽セミナー 田中雅弘の音楽旅日記 14

…平成 28 年 7 月 18 日（月・祝）（予定） 会場：アスピラート

b （仮称）音楽セミナー 楽器と音楽

…平成 28 年 6 月又は 9 月（予定） 会場：アスピラート

[共催事業]

a （仮称）指揮セミナー …開催時期未定 会場：防府市公会堂

b 室内楽セミナー

…平成 28 年 7 月 15 日（金）～17 日（日）（予定） 会場：アスピラート他

その他 1～2 本

（４）発表・支援事業

[主催事業]

a フェスタアスピラート 2017（音楽部門）

…平成 29 年 3 月 5 日（日）（予定） 会場：アスピラート

b フェスタアスピラート 2017（美術部門）

…平成 29 年 3 月 3 日（金）～5 日（日）（予定） 会場：アスピラート

[共催事業]

a 防府少年少女合唱団演奏会 …平成 28 年 7 月 24 日（日） 会場：アスピラート

b 防府吹奏楽団定期演奏会 …平成 28 年 5 月 8 日（日） 会場：防府市公会堂

c 防府弦楽合奏団定期演奏会 …平成 28 年 10 月 9 日（日） 会場：アスピラート

d 第 25 回能章まつり …平成 28 年 10 月 2 日（日） 会場：アスピラート

e 第 37 回山頭火全国自由律俳句大会・第 18 回山頭火生誕祭

…平成 28 年 11 月・12 月頃（予定） 会場：アスピラート

（５）文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設づくりに努めます。

① 防府市公会堂

昭和 35 年の開館から 55 年以上が経過し、老朽化が進行していますので、指定管理者として効果的な部品交換や小修繕、日常点検を実施し、防府市と連携して利用者の方に安全で快適な空間を提供できるよう維持管理を行っております。

本年度からは、公会堂改修工事の設計に市が着手されると聞いておりますので、本財団としては、今まで管理運営をしてきた立場から、利用者の声や現状の課題が反映されるよう努め、利用者にとってより快適な空間、管理運営が容易な施設になるよう市に協力してまいります。

運営については、ネットワーク社会に対応した情報発信を充実させるため、ホーム

ページにおいて常に分かりやすい情報提供を行い、大ホール以外についても積極的に利用促進を図ります。

また、定期的な接客研修や防災訓練を行い、職員のさらなる資質向上に努め、より一層のサービスの充実と向上を図ることにより、利用率の向上を目指します。

② 防府市地域交流センター

市民が交流する文化拠点として、市民が利用しやすい施設づくりに努めるとともに、利用者の安全、安心を最優先に施設の保守管理、危機管理の徹底を図ります。

また法令等を遵守し、公平、公正、信頼性に基いた運営を行うとともに、利用者の立場に立ったサービスを提供してまいります。さらに環境対策にも目を向け、節電等による省エネルギーや廃棄物の対処にも努めます。

貸館運営については、開館から18年目を迎え、機器の老朽化や経年劣化に対応し、音楽ホールの照明機器の一部の更新を実施しています。今後もホールの質を維持していくように予防保全に努めます。練習室等については、空き状況を携帯電話やパソコンで確認できるなど利用者の利便性を高め、行事アドバイザー業務の充実を図ることによって更なる利用率の向上を図ります。

さらには、社会見学やバックステージツアーなど市民に施設の裏側を知ってもらう広報活動も積極的にを行い、市民に親しまれる施設を目指します。

2 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された防府市青少年科学館は、「サイエンスを、やさしく、ふかく、たのしく」をモットーに、ともに学び、考える機会を創出し、楽しむことのできる施設運営に取り組んでおります。

第3期指定管理期間のスタートの年となる平成28年度は、各関係機関と協力しながら事業展開し、さらなる博物館力の向上を目指すとともに、地域教育や学校教育への支援に努め、科学センター的役割の充実を図ります。また、当財団が指定を受けている意義を踏まえ、未来の社会に貢献するという姿勢を大切にして、人と人をつなげ、地域に愛される科学館となるよう努めます。

(1) 教育普及事業

① 日常事業

常設展示は、光と色の性質や身近な科学現象の原理などを紹介する「光の謎を解き明かせ！」の展示装置をはじめ、地域の自然や、宇宙と太陽の謎や生命の進化の歴史に触れることのできる回廊展示室の展示など、参加体験型の展示を中心に構成されて

います。これらの展示については、利用者が新鮮な視点で楽しめるよう工夫するとともに、疑問や興味にきめ細かく対応し、より深い理解と関心につなげるよう努めます。

また、太陽望遠鏡による太陽活動の観測（ガイドツアー）、たのしい工作、サイエンスショーなども継続し、科学を楽しく学ぶ機会の提供に力を入れます。

これらの体験をきっかけに科学に興味をもち、科学の楽しさや奥深さを追求できるよう、教育普及事業を展開します。

ア たのしい工作

土・日・祝日に、主に幼児から小学校低学年を対象にした簡単な工作教室を開催します。月ごとにテーマを変え、科学的な原理、原則や、道具の使い方などを学習できる教室です。

イ サイエンスショー

科学の原理をショー形式で紹介し、楽しみながら科学への興味を深めます。土・日・祝日に実施するとともに、平日は学校団体からの要望にもお応えします。団体の利用については、学年や目的に応じた内容のショーを実施し、科学への興味、関心を育みます。

ウ ソラールの科学教室

防府の自然を観察、学習したり、ものづくりを通して科学の奥深さを追及したりする科学教室を実施します。少人数の講座で、科学を掘り下げて学べます。

② 特別事業

子どもから大人まで幅広い人々が、わかりやすい展示方法や解説により、科学への興味・関心を高めることができる事業を展開します。一年間を通してより多くの人々が来館されるよう、質の高い多様な企画を継続して実施します。

ア 春休み工作教室（後半）

【平成 28 年 4 月 1 日（金）～4 月 6 日（水） 5 日間】

学校の春休み期間中に、各種科学教室を実施します。

イ 春の企画展「ラ・ビレット展～数と形のふしぎなあそび～」

【平成 28 年 4 月 23 日（土）～6 月 5 日（日） 38 日間】

ラ・ビレット展は、フランスを代表する科学教育施設である国立科学産業都市「ラ・ビレット」との協力協定により「科学する心を育むこと」を目的として開発されました。コンピュータの比較的単純な論理や原理と数学的要素との密接な関係を知る、また答えまでの過程の重要性を理解していただくことを目的としています。

当館では、主に数や形に関するパズルやゲーム性のあるあそびができる体験展示物を展示し、算数・数学の不思議さ、美しさ、深さ、面白さについて、楽しみながら学べる企画展とします。

ウ 特別展「未来の科学の夢絵画展」

【平成28年6月18日（土）～7月3日（日） 14日間】

公益社団法人発明協会が、次代を担う青少年の科学的な探究心と創造力の伸長を図ることを目的として開催している「第38回未来の科学の夢絵画展」の全入賞作品を展示します。

エ 夏休み特別企画「サイエンスアカデミー2016」

【平成28年7月16日（土）～7月31日（日） 14日間】

講師に、小学校から大学までの先生方、企業や他の博物館の方などをお迎えし、幅広い分野の講座を実施します。14日間に合計42講座を行う、夏休み恒例の特別企画です。

オ 夏の企画展「鏡のラビリンス」

【平成28年8月5日（金）～9月4日（日） 31日間】

鏡に秘められた科学的要素を紐解き、その要素をうまく使った鏡の展示物を数多く展示します。鏡の不思議さや楽しさを体感することができ、また、鏡の迷路でドキドキ感も感じることができる、夏休みにぴったりの企画展です。

カ 防府市小中学校科学作品展

【平成28年9月28日（水）～10月2日（日） 5日間】

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学校の児童・生徒の夏休み自由研究・工作から校内選考で選ばれた優秀作品を展示します。

キ 秋の企画展「科学捜査展season2」

【平成28年10月22日（土）～12月4日（日） 38日間】

事件や事故の現場に残された物的証拠を手掛かりに、科学技術を利用して捜査する科学捜査。科学捜査で用いられる鑑定手法のうち7種類9項目に関する体験型の展示と、タブレット端末を使い捜査の一連の流れを模擬体験できる捜査体験シミュレーションとで、科学捜査を紹介します。

平成24年度秋の企画展で実施した「科学捜査展」の第2弾として、前回とは異なった切り口の内容で開催します。

ク ソラールのクリスマス2016

【平成28年12月23日（金・祝）～12月25日（日） 3日間】

クリスマスらしい工作教室やサイエンスショー、ビデオ上映などを行い、楽しく、華やいだ雰囲気に包まれた3日間を演出します。

ケ パネル展「宇宙科学ヒストリー」

【平成29年1月28日（土）～3月5日（日） 32日間】

日本の宇宙科学の飛躍を支えた関係者の情熱とひたむきな努力や、今現在も続けられている宇宙へのあくなき挑戦について、パネルで紹介します。日本の宇宙科学

の歴史や、その功績を感じることができるパネル展です。

コ 春休み工作教室（前半）

【平成29年3月28日（火）～3月31日（金） 4日間】

（2）情報収集保管事業

太陽望遠鏡による太陽観測映像や、防府の発明家「柏木幸助」の資料などを収集保管します。また、収集した資料を使った展示や学習支援活動により、科学や科学技術に関心をもち、考える機会となるよう、所蔵資料の効果的な活用に努めます。

（3）啓発調査研究事業

防府の自然や、科学教育、科学技術などに関する調査研究を行い、地域の科学教育の推進に努めます。また、科学の楽しさを伝えるための教材開発にも取り組みます。

（4）学校連携及び外部連携事業

① 学校連携事業

市内の小学校への出前講座などを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行います。また、学芸員実習をはじめ、インターンシップや職場体験学習による人材育成支援も行います。

② 外部連携事業

博物館や大学、企業、地域の団体と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができるアウトリーチ活動や科学教室、企画展の開催を目指します。

また、外部の団体と連携することで、社会に根差した科学館となるよう努めます。

③ 防府市少年少女発明クラブ

防府市少年少女発明クラブでは、ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」のメンバーが指導員となり、子どもたちが主体的に学びながら、楽しんで活動しています。公益社団法人発明協会主催の発明くふう展やチャレンジ創造コンテストへの参加など、科学的な創作活動を続けている発明クラブの活動を、引き続き支援します。

（5）科学教育指導員派遣事業

増加している出前講座の依頼に対応するため、必要な知識・技術をもった人を指導員に育成したり、指導員のスキルアップの支援をしたりして、科学教育指導員派遣事業を更に充実させます。

（6）情報提供活動

ホームページをはじめ、「そらーる通信」や「ソラール年報」で活動の情報や実績を

広く紹介します。また、財団通信や市広報、報道機関への情報提供にも努め、積極的にPR活動を行います。

そのほか、小学校の社会見学など団体利用の誘致を進め、施設の利用促進に努めます。

(7) 財団会員特典

防府市文化振興財団の会員に対して、会員証の提示による割引を始めます。

これまで、芸術文化など科学とは異なる分野に興味があり、科学館を利用されなかった方にもご来館のきっかけとなるよう、話題となっているテーマも積極的に取り上げるなど、利用者の裾野の拡大に取り組みます。

3 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

視聴覚教材や機材の充実と活用を図って、学校教育や社会教育における学習効果を高める事を目標とします。この目標達成のために、以下の事業を推進します。

(1) 視聴覚教材や機材の計画的な充足

視聴覚教材や機材に対する利用状況や利用者の要望を分析し、運営委員会などで検討をして、具体的な充足計画を策定します。

充足計画に従って、視聴覚教材や機材を整備し、新規整備した教材などの内容を利用者に紹介し、利用の促進を図ります。

(2) 視聴覚教材や機材の貸出管理

視聴覚教材の目録を整備し、利用者に周知します。視聴覚教材の目録をホームページで検索できるよう引き続きデータの整理、更新を行います。また、本年度は、5年に一度の教材目録の製作年であり、学校など市内の諸教育施設に送付します。

視聴覚機材の保守点検に努め、利用申込者の要望に応えられるように努めます。

(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映

青少年科学館の事業内容に適合する視聴覚教材を選定して上映することにより、科学教育の普及を支援します。また、クリスマスには、科学事業の「ソラールのクリスマス」に合わせ、クリスマス上映会を行い、来館者サービスに努めます。

(4) 市内小学校あて巡回ビデオの配送

防府市小学校教育研究会視聴覚教育研修部の先生方が選定された視聴覚教材を、市内小学校内で計画的に上映できるように配送します。

(5) ビデオ撮影編集講習会の開催

地域住民の視聴覚教材制作への関心を高め、技術の向上を目的とした講習会を開催します。

(6) ホームページの充実

視聴覚教材目録のデータの保守を行い、最新の目録をどなたでも利用できるよう整備します。また、自主制作の「地域教材ビデオ」や「ビデオ撮影編集講習会」で制作した作品のインターネット上での公開を今後も拡充し、ホームページを充実させます。

4 教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業

教育及び文化の情報拠点として、図書館サービスの充実を図るとともに、市民の生涯学習活動の場として、集会・文化活動や広報活動を推進します。

また、4月1日から市が施行される予定の「防府市図書館サービス振興基本計画」に基づき、図書館サービスの更なる向上に取り組んでまいります。

(1) 図書館サービス事業

① 資料収集業務

図書館資料の選書・収集を「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づいて適正に実施し、郷土資料、特に防府市関係資料などの質・量両面にわたる充実を図り、他に誇れる特徴的なコレクション形成に努めます。

② 来館者へのサービス業務

ア 資料貸出・返却業務

窓口カウンターでは、図書館資料の貸出及び返却処理、利用登録に関する業務、予約・リクエスト受付業務などを行い、利用し易い施設になるよう努めます。

イ 情報提供サービス・資料相談業務

資料相談カウンターには、司書有資格者を常時配置し、利用者への資料探索の補助・支援のほか、資料利用案内業務、読書相談業務、その他内容に応じた関係機関等の紹介業務などのレファレンスサービスを行います。

適当な資料及び情報が即座に用意できない場合には、他の図書館、市内外の関係機関等に照会・案内するなど、レフェラルサービスにより、利用者の立場に立ったサービスを提供してまいります。

児童用カウンターには、司書有資格者を配置し、読書案内等の業務を行います。

③ 資料管理業務

ア 資料の受入れ業務

資料管理業務全般について司書有資格者が監督に当たり、資料の受入れに際しては、受贈資料も含めて統一的・継続的に管理するための装備をし、図書館システムによる蔵書目録を整備して、利用者の利用に供します。

イ 資料整理業務等

資料の分類配列を適切に行い返却資料等を迅速に整理し、書架の整理整頓に努めるとともに、年2回、全開架資料の蔵書点検を行います。

ウ 未返却資料の返却督促業務

延滞資料については、電話・葉書等により定期的に返却を督促し、予約が入った場合は随時督促を行います。

④ 移動図書館運行サービス

図書館から遠距離に居住する方、障害のある方、交通手段のない方等の幅広い利用を推進することができる市内全域サービスの充実を図るため、移動図書館車を効果的に運行します。ステーション、コース等は、半年毎に見直しを行います。

⑤ 図書館コンピュータシステム

図書館コンピュータシステムの効果的・効率的な運用による、図書館サービスの向上に努めます。特に、インターネットを利用した検索・予約・貸出期間延長その他のサービスを充実し、図書館利用の促進を図ります。

本年12月にはシステムの更新を行います。

⑥ その他の図書館サービス業務

ア 団体貸出

市内の学校・幼稚園・保育所・認定こども園その他の施設・団体等の読書活動を支援する事業の一環として、貸出文庫その他の団体貸出を実施します。

イ 地域の読書活動支援

市内15ヶ所の公民館において、地域文庫事業を実施します。

また、市内で行政・公共機関・地域団体等が実施する読書活動や生涯学習の推進・振興に関する事業に対する協力・支援を行います。

ウ 障害者サービス

障害者へのサービスのため、ボランティアとの協働により点字・音声資料等の整備、充実に努めるとともに、郵送貸出等、種々の方法による障害者の図書館利用の推進を図ります。

エ 複写サービス

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいて複写サービスを実施します。

オ 防府史料の刊行

防府史料を継続的に刊行するとともに、デジタル書籍化し、ホームページ上に掲

載します。本年度は、「(仮題) 西浦新開作関係史料」を発行します。

⑦ 広報活動

ア 図書館ホームページ

図書館システム上のホームページを適切に運営、管理、更新し、内容の充実を図り、電子媒体による資料・情報提供に努めます。

イ 広報活動

月刊の「図書館だより」、「こどもしんぶん」、「新刊紹介」等の広報紙を刊行し、市広報「ほうふ」に図書館に関する記事を掲載するなど、利用者への情報発信に努めます。

ウ 図書館年報

「図書館年報」を毎年作成し、冊子体のほかホームページ等で公表します。

⑧ 図書館施設の利用等の許可

研修室等は、利用許可等の事務を適正に行い、図書館業務や市が主催する事業、学習グループ・ボランティアグループが主催する生涯学習活動等のために活用を図り、研修室については、利用予定の無い日は学習室として開放します。

⑨ 施設管理業務

ア 施設・設備・備品の維持管理と環境整備

図書館施設・設備・備品の点検と日常的な修繕を適切に実施し、計画的に館内の清掃を行うことにより、利用者が安全で快適に利用できるよう環境整備に努めます。

イ 保安・事故防止対策

図書館は不特定多数の人が利用し、集まる場所であり、誰もが出入りできる環境にあるため、館内の状況把握に努め、安全上問題がある行為や迷惑行為については、利用中止や退館の措置を講じる等、必要に応じて警察への通報を踏まえた、毅然とした態度で対応します。

ウ 危機管理・防災対策

自然災害、火災、事故等の発生に対応するため、危機管理マニュアルや危機管理体制の不断の改善、消防法等の関係法令に基づく訓練の実施、救急救命講習会への参加等により、全ての職員が、緊急事態の発生や危険を迅速に認識し、適切な対応がとれるよう備えます。

(2) 生涯学習推進事業

① 図書館行事

ア 図書館おはなしボランティア養成講座

図書館ボランティアの拡大と活動水準の向上のため、図書館ボランティアに必要な基礎的知識の習得と技術の向上を図るための講義、実習を内容とした講座を、2

月と3月に4回以上実施します。

イ 子どもの読書活動に係る事業

a 第2次防府市子ども読書活動推進計画

「第2次防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、市の関係各課、小・中学校及び関係諸機関等との連携を図り、子どもの読書活動を推進します。

12月の図書館システム更新時に導入される学校図書館とのオンラインネットワークシステムを活用して、更なる学校図書館支援に取り組みます。

b 子ども図書館員

子どもに図書館の仕事を理解してもらうため、夏休みに「子ども図書館員」を実施します。

c 防府市図書館を使った調べる学習コンクール

子どもたちの調べる能力を育てるための「第4回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」事業に積極的に協力し、図書館資料を活用した学習の啓発に取り組みます。

d 職場体験等の受入

職場体験等のインターンシップ、図書館見学、図書館実習等は、可能な限り受け入れを図ります。

ウ 講演会

防府図書館開館75周年・防府市制施行80周年・ルルサス防府開設10周年記念「防府市子ども読書フェスティバル」の際に記念講演会を実施します。

エ 展示・展覧会

展示室の常設展「上山満之進と三哲文庫」は、利用者に分かり易い展示に努め、共催で特別展を開催する団体を募集します。ブラウジングコーナーの壁面では、申込みにより絵画・写真等の展覧会を実施します。

また、展示コーナー、中央カウンター前、児童カウンター横での月例資料展示は、それぞれ、利用者の関心や時宜に即したテーマの選定に努めます。

② ボランティア・学習サークル等との協働事業

ア 共催の文化行事

防府図書館開館75周年・防府市制施行80周年・ルルサス防府開設10周年記念「防府市子ども読書フェスティバル」（5月29日）、「防府図書館まつり」（10月15日）等の行事運営について、実行委員会、ボランティア等との協働を推進し、図書館事業への市民参画及びサービスの向上を図ります。

イ 図書館サークルの公開事業

防府図書館で活動している各種サークルが実施する公開事業等を支援し、充実・拡大を図ります。

ウ 学習講座

図書館資料を活用し、防府図書館で生涯学習講座やサークル活動を行っている多くの団体の活動拠点として、活動団体の奨励・育成に努め、図書館の多角的な利用促進を図ります。

③ 本財団内部の連携事業

図書館にある様々な資源（ヒト・モノ・情報）を、より活用し、図書館事業と文化・科学事業との連携を図ることにより、相互の事業発展につなげていきます。

ア 文化事業との連携

音楽事業、古典芸能、美術事業などの文化事業の担当者と図書館事業の担当者が連携した事業を推進します。

また、本財団が管理運営している地域交流センター（アスピラート）と図書館は隣接しているので、市民ニーズに応じて、アスピラートの市民スペースやフリースペースを活用して、小さなお子様連れのお客様に図書の読み聞かせを実施したり、2階ミニシアターで子供向けビデオを鑑賞できるようにしたりする等、施設を超えた新しい発想の取組みを行います。

イ 科学事業との連携

a 図書館で実施する事業←青少年科学館（ソラール）が協力

ソラールで開催する企画展の際や科学技術に関係した記念日などに、関連書籍の展示を行い、併せてソラールで実施する教室や企画展などの周知を行います。

夏休み期間中は、自由研究・自由工作の一助となるよう、図書館で科学工作の作品例や昆虫標本などのミニ展示を行うとともに、関連図書のリストを作成し、図書の利用促進を図ります。自由研究・自由工作の相談会の開催についても検討します。

b 青少年科学館（ソラール）で実施する事業←図書館が協力

企画展などの会期中、図書館職員が関連する本のブックトークなどをソラールで行うとともに、図書館の利用案内なども行います。

また、ソラール内にコーナーを設けて、子どもたちに図書館で調べ学習を促すような展示を行います。

一般成人向けには、広く市民に、図書館に収蔵されている文献を知っていただくため、分野ごとに期間を決めてソラールに展示します。

5 収益事業

利用者のサービス向上につながるよう、防府市公会堂の有料駐車場の運営や、チケットの受託販売、科学館のショップ運営などを展開します。

これらの事業で得た収益は、公益目的事業の一層の充実を図るために活用します。

(1) 有料駐車場

公会堂利用者の利便性を高めるため、有料駐車場の管理運営を行います。

大ホールを利用した催し物では、同時時間帯に駐車場の利用が集中することが多いので、安全かつスムーズに出庫できるよう精算機に職員を配置するなど、利用者に配慮したサービスの提供に努めます。

また、専門業者による定期的な点検のほか、日常の目視点検などにより不具合を早期発見し、安全な運営に努めます。突発的な設備の故障やトラブルについても、適切に対応します。

なお、設備の設置から16年以上が経過し、メーカーによる予備部品の保管期限も切れておりますので、更改について市と協議してまいります。

(2) チケットの受託販売

公会堂、地域交流センターでは、他館で開催されるチケットを積極的に受け入れ、利用者のサービスに努めるとともに、チケット購入で来館されたお客様に、本財団で実施する事業を知っていただく機会にします。

(3) ミュージアムショップ

質が良く信頼性の高い商品、科学的で生活の中に共有できる商品を提供することで、ミュージアムショップの利用者増を図り、財源の確保につなげます。

また、科学館の教育目的に関連させた商品の取り扱いを増やすことにより、科学館での体験をより豊かにするようなミュージアムショップの運営に努めます。